

競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2020年度日本陸上競技連盟競技規則による。
2. アスリートビブス 個人アスリートビブス（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集 ○トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技は40分前とする。
○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
○四種競技の第一種目（ハードル）と第四種目（男子400m、女子200m）の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行う。第二種目以降のフィールド種目の招集については現地において競技開始時刻の30分前までに行う。
○招集所は、本競技場内雨天走路とする。
○雨天走路への出入りについては、100mスタート地点後方、第4ゲートに限るウォーミングアップ場は、補助競技場のみとする。
4. 練 習 場
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 ○不正スタートをした競技者は、1回目で失格とする。
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
7. フィールド競技 走幅跳、砲丸投はトップ8による3回の試技を追加して行う。
8. バーの上げ方 男子走高跳 140cm ～5cm 刻み
男子四種走高跳 115cm ～5cm 刻み
女子走高跳 125cm ～5cm 刻み
女子四種走高跳 100cm ～5cm 刻み
※当日変更することがある
9. ス パ イ ク
10. シ ュ ー ズ トラック種目・走幅跳・棒高跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。
フィールド種目・800m未満のトラック種目 20mm まで
800m以上のトラック種目 25mm まで
11. そ の 他 ○当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
○当日の選手の変更は一切認めない。
○競技する選手以外は競技場内に立ち入ることはできない。
○大会中は受付で渡される選手証を必ず携帯すること。
○空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
○テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。
○スタンドの手すり際に立っての応援や、メインスタンドでの集団応援は禁止する。
○中学生は携帯電話を競技場内では原則として使用しないこと。
○トランシーバーを使用する場合、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。
○感染症対策として、以下の点に注意すること。
 - ・競技場内では、できる限りマスクを着用すること。特に、声を出しての応援やコーチングを行う場合には、必ずマスクを着用すること。
 - ・スタンドや各校の控え場所などでは、ソーシャルディスタンスを保ち、対面での食事やおしゃべりを行わないこと。
 - ・こまめに石鹸で手を洗うこと。消毒薬等は、各自で準備することが望ましい。

選 手 注 意 事 項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。

